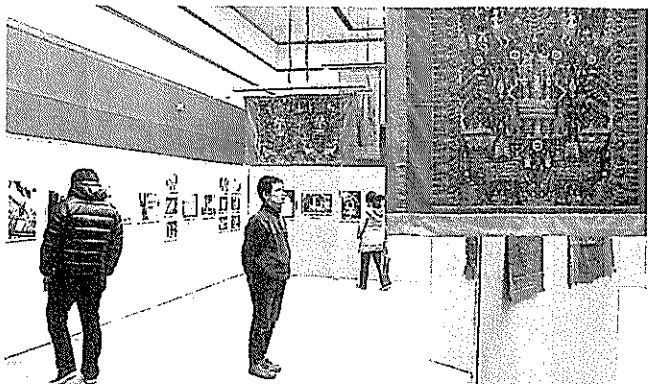


# 市民版

## カンボジア

### 絹織物復活の軌跡

長い内戦ですたれたカンボジアの絹織物の技術を復興させた京友禅師の活動や、織り手の暮らしなどを紹介する写真展が18日、京都市北区の立命館大学国際平和ミュージアムで始まった。子連れで楽しそうに働く母親などを撮影した写真や織物の実物も並ぶ。



復興したカンボジア伝統の織物も展示されている会場（京都市北区・立命館大学国際平和ミュージアム）



毎年9月に伝統の森で行われる「蚕まつり」の前夜祭には、復興した織物をまとうファッションショーも開かれる。モデルも織り手がつとめる。



子どもたちの笑顔が森本さん（左中央）を元気づけた。今では蚕蚕から手がける

立命大ミュージアムで写真展

## 京友禅師、荒れ地を村に

カンボジアの絹織物は、以前は農村の女性が乾期に営む伝統産業で、高い技術を誇っていたが、内戦によって多くの担い手が各地に散らばった。織物は分業だったため、一貫しての生産が難しい状態となっていた。復興に携わったのは京都市下京区出身の森本喜久男さん（62）。1995年にカンボジアにクメール伝統織物研究所（IKIT）を設立し、熟練者の発掘や伝統的な柄の織物・織機の収集に取り組んでいる。2002年には、同国北部のシエムリアップ郊外に荒れ地を購入し、織だけでなく蚕蚕などにも取り組み始めた。荒れ地は「伝統の森」と名付けられ、現在は織物を生活基盤とする約200人が暮らす村となった。



伝統織を作る女性たち。仕事場には、子ども連れの母親さんがいっぱい

写真展を企画したのは立命館大学の院生や研究者ら。伝統の森などでカメラマンが撮影した約50点の写真を並べた。昨秋、IKITを訪れた中、秋田県研究員30は「仕事場には子連れの母親が多く、とても楽しそうに働いていた。いきいきした表情を見てほしい」と話している。23日まで。入場無料。22日午後5時から一時開催した森本さんの講演会もある。定員30人。（堀田真由美）

### 大根人の足のよう

伏見 園児が畑で収穫

京都市伏見区向島の白菊保育園の園児たちがこのほど、先が四つや七つに分かれた大根を収穫した。人の足のようになり、ねじれた園児たちは「歩きそこと大はしやだった」という。

近くの園の畑で4歳児たちが見つけた。収穫した約30本のうち4本の先が分かれた大根の人の足の指のようになっている。ねじれた形のものも足を見えるようにも見えたという。

## 西本願寺門前盛り上げ

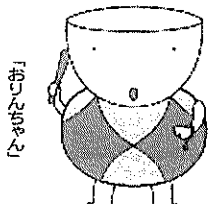
今年、浄土真宗本願寺派の宗祖親鸞の750回大遠忌法要を迎えるにあたり、門前を盛り上げようと、住民団体が京都市下京区の西本願寺周辺を散策してマップを作成した。マップには地域の歴史を合わせて団体のマスクを知ってもらうと、西トキヤラも誕生させ、50年に一度の大遠忌の年を「六条御境内絵図」として盛り上げた。地図「六条御境内絵図」として現在、透ける紙に印刷し、新旧のまちの様子を合わせて紹介している。

## 親鸞大遠忌 住民らマップ・キャラ作成



西本願寺の門前町の魅力や歴史を紹介した「榴柳マップ」

比較できる。また仏具店や飲食所在地を明記したり、碑や古い建築物とい見どころを写真とで紹介、おすすめの牌一スも提案している。このマップに掲載デビューを飾ったの具の「おりん」をモチーフにしたキャラクタ「おりんちゃん」。町に親しみを持っておとと公衆、企画提案のあった50点の中から選んだ。今後はコトとして活躍する。同団体の宇佐美前表（52）は「全園から訪れる門信徒の人がマップを手にしたの魅力を五感を感じられれば」と話している。マップは1万部印刷し、門前町の商店に配布している。（逸見祐）



「おりんちゃん」

## 市動物園の「マンゴロウ」天国へ



死亡した「マンゴロウ」＝京都市動物園提供

京都市動物園（左京区）は18日、マンドリル（マンゴロウ）が死亡したと発表した。死亡したオスの人間では60代前半にあたる、という。5頭の子玉に恵まれ、親子仲が非常に良く、飼育員が来園者から人気で、関係者から入念に観察されている。マンゴロウは1990年7月、市動物園で生まれた。2000年に残念がっている。オスの間に04年11月、第1子オス「マンゴロウ」が誕生、昨年13日から衰弱が生じた。17日に死亡した。昨夏の猛暑が寒さが身にこたえたと推測している。マンゴロウの子供のうち1頭は福山市立動物園（福山市）に、1頭は島原市立動物園（島原市）に、1頭は動物園で飼育するマンゴロウはメスのマンドリルはマンゴロウの保護連合の締結に選定された。（立山）

水のついでに...  
京都市水道局研究工房店番612号  
日本水テック  
本社/京都市上京区一乗通  
七本松西入町40番地の1  
03120617888

地域報道部  
Tel 075-241-6117  
FAX 075-252-5454  
読者応答室  
075-241-5421

陶山俊一園長（66）  
は「スーパードライ」の形だけが大きくなる」と言っている。材料に使う